

防災の取り組みに朝見を視察!

NHKクローズアップ現代放映から
災害時協力企業の取り組みなど

*滋賀県東近江市

建部地区まちづくり協議会より一行21名。

<http://www.city.higashiomi.shiga.jp/kyodo/machikyou.html>

*愛知県常滑市

市長、市議会議長一行26名。

滋賀県の南東部に位置し東は鈴鹿山系から西は琵琶湖に面する東近江市の中部に位置する建部地区は歴史と文化に栄える地域である。平成18年2月住民協議会を設立。人口2千余名の自然に恵まれた地区。行政始め自治会、公民館、福祉会など12団体が中心に協働はまちづくりをする。主な活動は緑化活動、クリーンアップ作戦、歴史ブック地区史発行、歴史等看板作成など地域づくりを推進。ゆづり生活部、さわやか環境部、ふるさと文化部、すこやか福祉部、ふれあい交流部と具体的な活動を部会名に掲げ活動を広げている。まちづくりの目標を「地区住民自らが考え責任を持って行動することにより、地域の抱える課題を克服し、この地域に愛着と誇りを持つ安心して生き生きとした暮ら

あさみ会報



朝見まちづくり協議会 あさみ会報編集部
発行責任者・鈴木三千夫
松阪市大宮田町 209-4
朝見地区市民センター内 電話 0598-52.0007

2011.08.27 発行
第32号

建部まちづくり協議会 と視察交流会を開催

平成23年7月2日(土)
10:40~朝見地区市民センターで開催。小泉登喜夫会長始め21名の協議会役員の方々が参加されました。交流会では、田村 正(朝見)会長が歓迎の挨拶、小泉登喜夫(建部)会長が挨拶。平成22年度「みえの防災大賞」や「NHKクローズアップ現代」で取り上げられた取り組みを、田上勉史防災部会長がスライドで説明。実践的防災訓練に取り組んで来た朝見地区の特徴的な訓練内容を解説する。実践的訓練とは、一人の犠牲者も出さないとの精神で取り組み、その一つが倒壊家屋からの救出訓練。地域住民が全体意識に立って救出作業がスムーズに行えるよう、災害時協力企業との提携協定に至った経緯や内容を説明。

《建部地区の紹介》

滋賀県の南東部に位置し東は鈴鹿山系から西は琵琶湖に面する東近江市の中部に位置する建部地区は歴史と文化に栄える地域である。平成18年2月住民協議会を設立。人口2千余名の自然に恵まれた地区。行政始め自治会、公民館、福祉会など12団体が中心に協働はまちづくりをする。主な活動は緑化活動、クリーンアップ作戦、歴史ブック地区史発行、歴史等看板作成など地域づくりを推進。ゆづり生活部、さわやか環境部、ふるさと文化部、すこやか福祉部、ふれあい交流部と具体的な活動を部会名に掲げ活動を広げている。まちづくりの目標を「地区住民自らが考え責任を持って行動することにより、地域の抱える課題を克服し、この地域に愛着と誇りを持つ安心して生き生きとした暮ら

るまちづくりを推進することを目的とする」と会則に掲げ、まちづくりの基本理念としている。見出し欄のアドレスで東近江市全ての住民協議会の活動が見られます。

質疑応答の内容

Q 建部協議会は市から交付金を80万頂いて取り組んでいますか?
A 朝見は、松阪市から69万3千円と協議会の会費と収益事業の利益金等で運営資金としている。防災部会は事業予算が14万5千円(平成23年度) 視察研修事業として防災センターの視察を行っている。協議会会費を集めて運用資金のことですか?
A 設立当初から団体活動として、会則に会費を掲げています。各自自治会で配布されている市広報等の配達手数料の一部を会費として住民の皆さまのご協力を頂いている。

Q 後継者の問題をどのようにとらえているのか?
A 自治会を中心に住民協議会の設立がなされている関係から役員は60代を中心になっている。高齢者や若い世代の参加を望んでいる。

Q 女性の参加は大変だと思いませんか?
A 田舎なので建部でも朝見でも同じだと思いますが各町の集会等で男性が参加されるのが当たり前の世界であると思います。女性が参加することは中々難しいと思いますが女性が少ないでも関わってもらうことは大歓迎です。自らの力で自主的に立

ちあがって活動されているようですが?
A まちづくりをやっていると女性の参加がない、好きな者でやっているんだと言われたりしますか?
A 地域の事は自分たちで自主・自立していくことが大事であるとして最初から全力を上げています。
Q 最近では隣近所の住んでいる人が分からない、消火器が何処にあるか分からないなど、地域のコミュニティが壊れてきているが?
A 全ての活動は、同じ運命共同体であるという観点に立たないと地域は弱体化すると思います。
*住民協議会を設立したが、当時は公民館、自治会など別々の活動をしてきたが現在は大きく流れが変わり、「コミュニティセンター」の指定管理化など、各団体が協力してやっていると、地域づくりは出



↑建部地区 常滑市↓

常滑市より視察
平成23年7月5日(火)
10:40~朝見地区市民センターにて視察交流会を開

催。当日は、片岡 憲彦市長、伊藤四郎市議会議長、区長ら26名が参加した。冒頭、山中光茂松阪市長は挨拶で平成18年に設立した朝見まちづくり協議会の活動を紹介。住民自らが立ち上がり責任を持って地域づくりに取り組んでいる様子、防災部会、防犯部会など、住民自らが地域の「安心のまちづくり」に取り組んでいること、説明した。特に平成23年1月には「みえの防災大賞」を受賞した経過を紹介した。田上 勉史防災部会長は、実践的防災訓練を「地区からは一人も犠牲者を出さない」取り組みとしてスライドを使って説明。平成17年から実施して来た訓練の内、朝見の特徴的な訓練を30分にとわたり説明、その後の質疑応答では防災に取り組んだきっかけや事業予算など多くの質問が出た。



質疑応答の内容

Q 地域が防災意識を高められた理由
A 阪神淡路大震災を元に倒壊家屋からの一刻も早い救出しようと訓練を重ねる。

Q 全住民の安否確認は個人情報保護法等によって事前の把握が難しいが...
A 数年をかけて実施出来るよう体制作りの中で現在は防災訓練の時に不参加者の方に報告してもらい安否確認としている。

Q 防災部会は各町の自主防人位居るのか?
A 防災部会は各町の自主防から隊長、副隊長等防災部会委員として構成されている。

Q 高齢化と言うことで自分の命を守るのに精一杯ではないか?
A 防災訓練には高齢者の方が多いので「あさみ会報」やインターネット等で住民全体に広報している。

Q 古い家屋が多いが朝見では災害時協力企業の協力を得るとありますが地域外はあるのか?
A 災害時協力企業として協力して頂く事業所は全て朝見地区内です。全ての事業所が隣近所との思いで協力頂いている。

Q 住民協議会は行政の仕事まで担っているのか?市からのものは協議会へ来て自治会へ流れる仕組みになっているのか?
A 現在は自治会のもものは市民センター経由で行っている。但し住民協議会は自治会が母体となって設立されており配布物等自治会と一体となって協働している。

Q 自治会未加入世帯はどのようにカバーしているのか?
A 住民協議会は地区内全ての住民が対象であり、加入未加入を問わず朝見地区全ての全住民、事業所を大

災害時協力企業(事業所)の紹介

《朝見地区内の各事業所と災害時の救出作業の協力協定を行っています》

- (大宮田) 茂谷工務店・大徳建設株式会社・上川運送株式会社・JA 松阪農機センター
- (下七見) 東部建設株式会社 (朝田) 株式会社北川鉄工建設・葵クレーン (佐久米) 小林ファームライスセンター (立田) 宝山石油株式会社・中尾木材有限会社・株式会社ミック・鍛冶春建設有限会社・さくらテラス (古井) 有限会社松井工務店・榊産業有限会社・エムエフマツモト有限会社・岡田園芸・株式会社サンカ機工 (新屋敷) 第一産業株式会社 (上七見) 鈴木農産・(筒橋本) 電機・奥村農産 (和屋) ススキ産機有限会社・溝口土建・井上組・有限会社安達建設

前提として活動をしている。Q 今後の朝見の課題は?
A 防災の対応はこれまで努力しても足りないが、東日本大震災以降、津波災害がクローズアップされており、津波被害を想定すると自分たちの住む地域の海抜や避難場所そのものが問題点として上がってきている。また、広域で対策を練る必要から東部管内6地区で協力連携を図ろうと防災ネットワークの構築を検討しているところです。

第5回あさみ夏まつい・夕涼み会を開催!

平成23年8月6日(土) 18時から朝見幼稚園夕涼み会19時からあさみ夏まついを開催。天候に恵まれ約400名が参加、盛大に開催されました。まちづくりの収益事業から継続的に東日本大震災を応援して行こうとの主旨から、今回の夏まついも夜店の収益金の一部を義援金として寄付することになりました。皆様のご協力! 大変にありがとうございました。



CBCテレビ「イッポウ」朝見地区防災活動の取り組みを放映される
 7月28日(木)18時過ぎ「イッポウ」番組で防災の取り組みが放映された。番組では、災害時協力企業と連携した救出作業の取り組みが地域防災力として大きく評価されている。災害時の救出作業に地元の企業(事業所)の協力を得て一刻も早く救出しようということで、災害時協力企業として協定を結んでいる「ススキ産機」と「奥村農産」が取材され放映されている。インタビュは「地域に貢献することは当然のこと」「防災訓練が地域



平成23年2月17日NHKクローズアップ現代で放映されるなど、住民が主体となって「まちづくり」に取り



朝見で松阪市新人研修市新規採用職員の研修の一環として協議会の取り組みを学ぶ。
 平成23年5月15日(日)13:30朝見地区市民センターにて防災研修を開催。朝見まちづくり協議会は、平成20年みえの防災奨励賞、平成22年1月には「みえの防災大賞」を受賞、



の安心安全を作っている」など地域住民が立ち上がりつつある防災力を高めている取り組みが放映された。



青色防犯パトロール! 合同出発式を開催。
 平成23年7月28日15:00朝見地区市民センター前で開催。松阪市、松阪警察署、防犯部会、楽笑会、まちづくり協議会の代表、小学校の代表、公民館、市民センター、子どもたちが参加する。平成18年より青パトを申請して来たが5年間の地域と一体の防犯活動の努力が青色回転灯装着パトロールの実施が叶う。今後毎週2回実施される防犯パトロールで地域の安全が一段と強化されることとなった。

組んできた。松阪市新人研修では、朝見独自の防災の取り組みなど、災害時協力企業との協定、自主防災行動マニュアルの策定経過、工夫をした防災訓練、要援護者の避難所生活の対策など、自らが地域に合った訓練などを通して朝見まちづくり協議会の「自分たちの地域は、自分たちで考え行動を起こす、まちづくり」など説明。質疑応答では、防災意識を高める工夫、防災訓練で努力していること、「まちづくり」を通して朝見地区と行政の関係など、意見交換が活発に行われた。

CBCテレビ取材風景(ススキ産機にて)